

上長崎小学校 令和5年度 学校評価の報告

1 学校教育目標

まちを愛し 人とつながり 夢に向かう

2 学校経営基本方針

- 関係法令、学習指導要領及び県・市の教育方針に則り、第4次長崎市教育振興基本計画の目指す姿である「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている子どもの姿」の実現を図る。
- 児童の実態、社会や時代の要請、保護者・地域の願いを踏まえ、知・徳・体の調和のとれた発達を基本としつつ、誰一人取り残すことなく、よりよい社会と幸福な人生の創り手を育成する。

3 令和5年度の重点努力事項

- ① 「挨拶、返事、あったか言葉」の取組推進 【市教育振興基本計画G1-2、3】
- ② 特別支援教育の視点を踏まえた学年・学級経営【 " G1-2 】
- ③ 全児童の学びの機会の保障と学力向上の推進【 " G1-1 】
- ④ 楽しい職場、働き続けたい職場づくり 【 " G1-3、4】

4 自己評価の結果

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	88	95	89	概ね良好な評価結果だが、固定概念に縛られ過ぎている分掌事務や日々の業務の進め方を含め、業務改善についてはまだまだ課題がある。更なる働き方の改革が求められているので、行事の計画・運営、日課の工夫、校務分掌の再編等、更に業務の改善を推進していきたい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	91	97	95	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			95	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			95	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	90	88	42	「ルールやマナーを身に付けている」について、大きな課題がある。「挨拶をよくしている」については、全校で取り組んだこともあり、徐々に改善されてきている。今後も学年・学級経営、生活指導の工夫と充実を図ってきたい。
		挨拶をよくしている	96	87	79	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	95	95	95	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	91	95	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	79	93	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	95	93	72	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	97	87	94	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	92	98	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	94	98	100	「特色ある学校づくり」「わかりやすい授業」については、三者とも高い評価結果となっている。カリキュラム・マネジメントを通して、地域を生かした取組が各学年で行われるようになってきている。今後も主体的・対話的で深い学びとなるように不断の授業改善に努めたい。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	92	98	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	91	85	82	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	91	95	100	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	92	98	100	

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	95	95	95	概ね良好な評価結果である。体育科の授業改善に取り組んでいることもあり、体力向上については、三者とも高い評価結果となっている。「早寝・早起き・朝ごはん」については、今後も引き続き取り組んでいきたい。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	84	83	89	
		体力向上に努めている	91	98	100	
	食育	食に関する教育活動を行っている	91	98	95	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	76	98	95	地域の関係団体や育友会との協力態勢が良好であることやホームページ、学校便り、学年通信等の取組が高い評価へつながっている。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	96	95	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	77	96	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	92	96	95	概ね良好な評価結果である。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

- 保護者からの評価は全項目において、8割以上の良好な評価を受けている。「挨拶」や「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣について、今後も連携して課題の解決を図っていきたい。
- 教職員の評価は、ほとんどの項目において概ね良好な自己評価をしているが、「ルールやマナーを身に付けている」について、肯定的な回答は42%となっており、大きな課題として捉えている。3学期のスローガンを「ルールやマナーを身に付け、高め、未来へ羽ばたく3学期」とし、全校で改善へ向けて取り組んでいる。

6 学校関係者評価

※学校評議員、育友会会長の意見

- 概ね良い評価と言える。
- 育友会と学校の連携がうまくいっている。
- 地域では、子どもたちはよく挨拶をしてくれる。
- ルールやマナーについて
 - ・ヘルメットをせずに自転車に乗ったり、自転車で駐車場に入り込んだりしている児童がいる。
 - ・ふれあいセンターの広場から車道へ飛び出す子供がいて危ない。
- 保護者の横のつながりが薄くなってきており、情報が入りにくくなってきている。
- 質問の仕方(言葉)で回答結果が変わるのではないか。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- 今年度の本校の教育活動の成果や学校評価の分析結果に対して、学校評議員全員が共感的に受け止めて支持して下さった。「ルールやマナー」について課題を共有することができたので、次年度に向け、取組を強化していきたい。また、児童へのアンケート設問の言葉を検討し、より実態をとらえることができるように工夫したい。
- 学校教育に対する高い支持がこれからも持続するように、職員一人一人が高い志や目標をもち、その達成を目指して日々の職務に精励しなければならないと考えている。